

平成 19 年 5 月 2 日

各 位

東京都渋谷区神宮前二丁目 31 番 12 号
株式会社ユナイテッドアローズ
代表取締役社長 岩城 哲哉
(コード番号:7606 東証第一部)
問合わせ先
I R 部 長 丹 智 司
電 話 番 号 03-5785-6637

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 29 日に公表した平成 19 年 3 月期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

【 連結 】

(単位:百万円)

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	60,845	33,579	7,963	7,910	4,214
今回修正予想 (B)	60,959	33,072	7,350	7,337	3,511
増減額 (B - A)	113	507	612	572	702
増減率 (%)	0.2	1.5	7.7	7.2	16.7
ご参考 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	53,813	29,018	7,663	7,639	4,076

【 個別 】

(単位:百万円)

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	58,676	32,313	7,833	7,776	4,279
今回修正予想 (B)	58,666	31,752	7,148	7,156	3,540
増減額 (B - A)	9	560	684	619	738
増減率 (%)	0.0	1.7	8.7	8.0	17.3
ご参考 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	52,610	28,298	7,487	7,442	4,032

2. 修正の理由

「棚卸資産の評価に関する会計基準」の早期適用等に伴う商品評価変更差額の計上

当社では財務の健全性及び透明性を一層向上させるため、平成 20 年 4 月 1 日以降開始事業年度から適用される「棚卸資産の評価に関する会計基準」を平成 19 年 3 月期より早期適用することといたしました。主に当該基準の適用により、当期仕入商品に含まれる変更差額約 160 百万円およびその他商品評価損額約 175 百万円を売上原価に、期首在庫に含まれる変更差額 約 540 百万円を特別損失に計上する見込みです。

その他

連結売上高につきましてはほぼ計画どおりの着地となりましたが、アウトレット売上およびセール売上の計画を上回る着地等により、上記 の要因を除いた連結売上総利益は計画に比較し 171 百万円(0.5%)の未達となる見込みです。また、販売費及び一般管理費が計画を 105 百万円上回る見込みです。これらの結果、上記 の要因を除いた連結経常利益は、期初計画に比較し 237 百万円(3.0%)の未達となる見込みです。

ご参考：上記 の要因を除いた場合の業績見込み試算値

【 連結 】

(単位：百万円)

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益
前回発表予想 (A)	60,845	33,579	7,963	7,910
試算値 (B)	60,959	33,407	7,686	7,673
増減額 (B - A)	113	171	276	237
増減率 (%)	0.2	0.5	3.5	3.0
ご参考 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	53,813	29,018	7,663	7,639

【 個別 】

(単位：百万円)

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益
前回発表予想 (A)	58,676	32,313	7,833	7,776
試算値 (B)	58,666	32,088	7,484	7,492
増減額 (B - A)	9	225	348	283
増減率 (%)	0.0	0.7	4.4	3.7
ご参考 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	52,610	28,298	7,487	7,442

3. その他

平成 19 年 3 月期の配当予想につきましては、現在のところ変更はございません。

(中間 3 円、期末 7 円 年間計 10 円)

以 上